

令和の都だざいふ

市制施行40周年



記念式典を開催

【第一部】記念式典

- ・オープニング
- ・開会のご挨拶
- ・国歌斉唱
- ・市長式辞
- ・市議会議長あいさつ
- ・来賓祝辞
- ・来賓紹介
- ・祝電披露
- ・市民栄誉賞
- ・市制施行40周年記念表彰
- ・受賞者代表あいさつ
- ・閉会のご挨拶

【第二部】記念イベント

- ・令和の都だざいふ 応援大使委嘱式
- ・世界に羽ばたく人材育成表彰
- ・子ども学生美術展表彰
- ・映画「令和の都に逢いにきて くだざいふ300年物語」上映
- ・梅花の宴再現



大宰府万葉会による「梅花の宴」の再現



オープニングの太宰府市民遺産第17号「竹の曲」



式辞を述べる楠田市長



記念式典の会場

式辞

太宰府市長の楠田大蔵でございます。主催者であります太宰府市を代表致しまして式辞を申し上げます。

万葉集梅花の歌三十二首序文にあります初春冷月にあたり、彼の大伴旅人公や菅原道真公も愛でたであろう梅の花も咲き揃い始め、建国の日にもあたる本日この佳き日に、元号令和の考案者とされる中西進先生を始め多数のご来賓の方々、そして本市の礎を築いて来られた多くの市民の皆様にご臨席を賜り、「令和の都さらにはばたくだざいふ 市制施行40周年記念式典」を挙行出来まことは誠に有り難いことであり、心より厚く御礼申し上げます。

さて、古より我が国の政治、外交、防衛、交易、文化などの要衝として、また世界に開かれた玄関口として発展を遂げて来た唯一無二の歴史を持ち、国の特別史跡大宰府政庁跡、水城跡を始め太宰府天満宮、九州国立博物館、観世音寺、戒壇院、龍門神社など数多くの名所旧跡を擁する誇り高き国際観光都市であります本市は、昭和57年4月に県内で22番目、全国で651番目の「市」として誕生し、本年度節目の40周年を迎えました。

この間を振り返りますと、市制施行当時5万人余りだった人口は現在7万人を大きく超え、その間新市庁舎を始め中央公民館及び市民図書館、文化ふれあい館の建設やいきいき情報センターの開設、天神さまのほそみち事業の完成、現在では多くの自治体で導入されておりますコミュニティバス「まほろば号」の運行をいち早く開始し、平成17年には100年来の念願でありました九州国立博物館が開館となり、その後総合体育館も開館しました。

また、令和時代の到来と共に本市は我が国初の元号発祥の地として注目を浴び、本日の横断幕や記念誌にもあります令和キャラクターやロゴマークを作成し、大宰府政庁跡で令和の人文字を市民と共に完成させるなど様々なプロモーションを行い、時間同じくして西鉄太宰府駅の27年ぶりのリニューアル、古民家を改修した待望のホテルカルティア大宰府のオープンなどで回遊性も高まり、コロナ禍前には1000万人を超えるほどの観光客を迎える活況を呈しました。

もちろん、平成15年の豪雨を始めとする災害や市政の混乱、今なお続く予期せぬコロナ禍など逆風も時にはありましたが、その度ごとに力強く困難を乗り越え本市が発展を遂げて来られましたのも、ひとえにここにおられる本日記念表彰をお受けになれます皆様方を始め関係各位、そして陰に陽に本市の発展のために汗を流して来られた全ての市民の皆様のご尽力の賜物であり、ここに改めて万感の思いを込めて敬意と感謝の意を表します。

私も市長就任以来、職員と共に世の為人の為市の為市民の為に自らの持てる力を出し尽くそうとの思い一心でこの5年間市政運営にあたって参りましたが、お陰様で史跡地の梅をグルメやスイーツに仕立てる令和発祥の都太宰府梅プロジェクトも起爆剤にふるさと納税が就任後30倍増となる12億円を突破するなど積年の課題であった歳入増も年々着実に実現し、直近の市民意識調査では市政への信頼度も7割を超えるなど上昇気流に乗って参りました。

今後、40周年を機に新たにスタートします「令和の都だざいふ応援大使」の委嘱、次代を担う子どもたちの為の「世界に羽ばたく人材育成表彰」や「子ども学生美術展」、当時の我が国の最先端の国際シンポジウムであった梅花の宴を1300年の時空を超え現代に甦らせる「令和文化会議」の開催、悲願であった中学校完全給食の実現など、まちづくりビジョン4つの構想と戦略に基づき、令和の都だざいふをさらに羽ばたかせるべく全力を挙げてまいります。

結びに、本日ご臨席頂きましたご来賓の皆様方、関係各位におかれましては市政運営への変わりぬご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、この度の市制40周年記念行事を通じ本市の来し方と行く末について改めて思いを致すことで今後の50周年100周年の発展へとバトンが確かにつながることを、そしてご臨席の皆様方全ての市民の皆様への更なるご健勝ご多幸と次代を担う子どもたちの限らない飛躍を心より祈念し、私の式辞と致します。

令和5年2月11日 太宰府市長 楠田大蔵

令和の都だざいふ応援大使からのメッセージ

市制施行40周年を契機とした新たな取組として、令和の都だざいふの魅力を図内外に広く情報発信し、市のイメージアップや文化、産業、観光などの振興を図ることを目的として、「令和の都だざいふ応援大使」を、本市の出身者や本市にゆかりのある人に委嘱しました。



宮本 雄二さん (宮本アジア研究所代表、元駐中国特命全權大使)

市制施行40周年を心よりお慶び申し上げます。
1955年、太宰府町と水城村が合併し新太宰府町が発足した記念行事に小学生として参加しました。多くの方が早く市となり、太宰府という行政名を残すことを願っておられたことを思い出します。

市制施行40周年に際し発足します令和の都だざいふ応援大使に名前を連ねるようというご依頼をいただき、喜んでお受けしました。太宰府に生まれ育った者として少しでも故郷に恩返しをしたいと思っただけです。太宰府が古い歴史と良き伝統に育まれながら、新しい時代においても、この街に住んで良かった、この街を訪れて良かったと、世界中の人たちに思ってもらえるような街づくりにお励み下さい。応援します。



道下 美里さん (東京2020パラリンピック女子マラソン T12視覚、ゴールドメダリスト)

令和の都だざいふ応援大使に就任いたしました、プラインドマラソンの道下美里です。太宰府市の皆様、市制施行40周年、誠にありがとうございます。

太宰府市にはパラリンピック出場に際し、壮行会を開催していただいたり、市長特別表彰や市民栄誉賞をいただくなど、いつも応援いただきとても嬉しく思っております。今後はマラソン選手としての活動はもちろんのこと、応援大使としても私の住む太宰府市の魅力を広く伝えていけるよう、頑張っていきたいと思います。引き続き応援をよろしくお願い致します。



高田 課長さん (芸人)

この度、令和の都だざいふ応援大使に任命して頂きました。芸人高田課長です！
幼少の頃からこの地で育ち、太宰府南小学校、太宰府中学校、筑紫台高校と多感な時期を思い出と共に過ごしてまいりました。

遠足で行った、大宰府政庁跡やだざいふ遊園地、バイトに明け暮れた梅ヶ枝餅屋さんなど、改めて大人になって同うと歴史の深さや、守り継がれた味の尊さを感じます。

太宰府と言うと太宰府天満宮周辺ばかりが取り上げられがちですが、太宰府にはもつと沢山の素敵な場所や人、物があります。

これから、大使として隠れた魅力を沢山PR出来る事を楽しみに頑張ります。

おとものタビット



太宰府市が令和発祥の都となったことをPRするためのキャラクターとして誕生しました。名前の由来は、「旅人（たびと）のたびと」や「れいわ姫」のお伴として旅をするうさぎ「タビット」からきています。

市の記者会見やイベントで登場するのはもちろん、令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトの統一ロゴマークや市内カラーマンホールのデザイン、企業とのコラボ商品など様々な場面で本市をPRしています。
トヨタカローラ福岡のCMやTBS系列「ラヴィット!」の「第2回ラヴィット!認定ゆるキャラダービー!」にも出演し、全国的知名度も急上昇中です。応援大使に昇格しての更なる活躍にご期待下さい!



表彰された皆さん

(五十首順、敬称略)

市民荣誉賞

広く市民に敬愛され、市民に明るい希望と活力を与える顕著な功績を収め、市民の誇りとなる人を表彰しました。



なかにし すずむ 中西 進

我が国最古の和歌集である万葉集研究の第一人者であり、文化勲章も受章されている中西進さんは、元号令和の考案者として、万葉集梅花の歌三十二首の舞台である太宰府市が我が国初の元号発祥の地として改めて注目を受け、その後の令和の都ださふとしの本市のまちづくりに大きく貢献をいただきました。



市制施行40周年記念特別表彰

市制施行40周年を記念し、本市の発展に特に功績があった「個人」「団体」を表彰しました。

赤峰一郎、赤峰和子、秋吉美千代、麻生昌義、荒木靖也、市川靖恵、井手 修、伊藤絹子、稲田和子、稲積謙次郎、井上保廣、井本邦彦、今村美栄子、岩熊正尚、岩崎記代子、内山田武利、宇野木博子、江頭菊代、江崎愛子、大石和夫、大貝知子、

大坂志保子、大田勝義、大鶴美香、大瀧志鶴子、大峯徳男、小田富士雄、小畑信彦、甲斐義憲、影山泰雅、金子百合子、狩野啓子、川野好子、神崎剛直、城戸ヤス子、木原裕和、木村甚治、工藤 卓、小出雅子、古賀秀光、後藤邦晴、後藤澁平、小柳親芳、小柳道枝、近藤正孝、齋藤なぎ子、榑恵美子、坂本紘二、貞富榮三郎、佐藤正威、志岐瑞子、篠原静子、篠宮 隆、柴田慧美子、渋谷靖二、島津勝彦、下田恵美子、

世界に羽ばたく人材育成特別表彰

文化・芸術・スポーツなどの分野で活躍している個人または団体で、おむね30歳未満の世界に羽ばたく才能ある人を表彰しました。

磯田和歩、今村好花、江崎果音、遠藤裕人、大原陽菜、貝原涼太、片平留依、木原愛由花、久原美琴、坂口颯飛、杉本創一郎、須本倫奈、田中祥太、都築マリ彩、寺尾若菜、畑田桜子、春山夏菜絵、松岡菜々、松下愛莉、宮崎晶成、矢ヶ部紋可、矢ヶ部真衣、吉野菜月、渡辺音乃、太宰府高等学校書道部、日本経済大学女子柔道部、日本経済大学吹奏楽部

世界に羽ばたく人材育成表彰

跡部李音、石津迅都、泉 凜心、一井柚花、井上晴哉、井上慶人、今福亮太郎、上野華鈴、上野稜馬、大井 耀、大末雅也、大田黒童夢、片山直志、上久保泰志、狩野美結、完戸菜夏、木下新桜、木原東風、木原颯那、木原莉愛、木原伶寧、木村真之介、久間稜太、倉吉 優、古賀碧波、古賀莞那、後藤梨奈、齋原 大、佐久間美奈、柴田果愛、柴田陽香、清水麗美、新屋絢菜、染谷弥希、高田浩太郎、高橋里奈、田中怜大、筒口誠久、富田有紀、豊田倫太郎、永椎心咲、永野結衣、永濱佑樹、中村明日香、野上嵩斗、野田陽都、早川結菜、日野桃寧、平田翔大、平山紗羽、深澤陽色、深津龍斗、福島悠叶、藤家良翼、北條恵太、松岡菜里、松下馳治、豆田恭成、水間美夢音、宮口聖菜、毛利 空、柳はるか、山口永徒、山口世峰、吉岡 陸、吉田瑚都、吉田隆一、米田彩菜、学院院中学校男子バレー部、九州情報大学相撲部、太宰府U14バレーボールクラブ、太宰府高等学校、太宰府高等学校射撃部、筑紫女学園大学LYKKE、筑陽学園高等学校応援リーダー部、筑陽学園高等学校マンガ研究同好会、

世界に羽ばたく人材育成特別表彰を受けた皆さん

- 白石静馬、陣内千鶴子、末吉美佐子、陶山憲一、陶山鐵也、關 敏治、瀬戸口良子、田上昭彦、高山修一、高山瑞夫、竹森 淳、立嶽和子、田中立夫、田中浩喜、田中房代、田原勝士、壇 和人、堤 孝子、徳永美子、富永強衛、永尾 敬、中島敏之、中島安彦、永田耕次郎、中塚幹二、中西 進、中野公信、中村 惇、仲村繁子、中村辰美、中村千枝、中村 宏、成松一永、西田省三、西谷 正、西村欣範、野上敏子、野中順治、野間拓生、荻尾正憲、八谷知子、花田博正、花田龍紀、濱田昌子、原田保幸、原田陽子、平田志津子、福廣和美、藤井雅之、藤井勇一、藤崎貞子、藤崎信顯、藤田百合子、二村 浩、船越 清、古川増男、不老光幸、實龍禮助、穂坂 卓、細川聰子、前田和傳、松尾セイ子、松崎正幸、松下 功、松嶋 厚、松田 信、松田美和子、松永徳子、道下美里、宮下充治、宮本守道、村山弘行、毛利清彦、本村和子、本村博史、百田澄雄、森 弘子、安河正裕、安河内興二、柳川恵潤、八尋セイコ、八尋理恵、山口郁子、山口建藏、山下春視、山田久雄、山本純史、淀川孝美、脇山千文、和田 學、和田光香、和田由美子、有限会社ICHI、絵本クラブいないいないばあ、
- 九州大学芸術工学部フィルハーモニー管弦楽団、コーレンティア株式会社、株式会社小嶋建設、太宰府市視聴覚映画クラブ、宗教学人善隣教、総合システム管理株式会社、太宰府高等学校、太宰府高等学校書道部、太宰府市消費者の会、太宰府てんとう虫の会、公益財団法人太宰府メモリアルパーク、筑紫ガス株式会社、筑紫台高等学校、筑陽学園高等学校、長浦台ひまわり会、株式会社ナッツ、株式会社日設コンサルタント、日之出水道機器株式会社、ひまわり隊、株式会社福岡銀行太宰府支店、福岡こども短期大学幼児教育研究会、福岡農業高等学校、一般社団法人まほろば自然学校、株式会社ルネックスプロジェクト、朗読紫苑の会

子ども学生美術展表彰

市内の小中学校・高校・大学等に通う児童・学生から、絵画・書道・写真・工芸・立体作品を募集し、市長賞、議長賞、副市長賞、教育長賞を表彰しました。

- 市長賞** (絵画の部) 川本 葵、青木大忠、柿内星音、村中朱李 (書道の部) 大石花帆、杉山綾野、ポリナ・コルズニナ (写真の部) 田代彩華 (工芸の部) 佐渡島来美、米川 聖 (立体作品の部) 瀧口昇平
- 議長賞** (絵画の部) 酒井美紗、陣内恵里奈、尾越暖子、吉永日和 (書道の部) 西依穂々、原 柚葉、御木信介 (写真の部) 朝長真雄 (工芸の部) 御手洗飛文、松村勇和



子ども学生美術展表彰を受けた皆さん

令和文化会議を開催しました

2月12日(日)にプラム・カルコア太宰府(中央公民館)で令和文化会議を開催しました。

日本文化研究の第一人者で、元号令和の考案者とされる中西進さん(高志の国文学館館長)が、『万葉集』を中心に古代大宰府をめぐる歴史や文学について講演しました。中西さんはこれまでリモートで講演したことがありましたが、令和発表以来、本市を訪れるのは初で、本市にとって3年越しの悲願となりました。



基調講演をする中西進さん



その後、太宰府を代表する文化人である西高辻信良さん(太宰府天満宮最高顧問)、島谷弘幸さん(九州国立博物館館長)、森弘子さん(太宰府市景観・市民遺産会議議長)を交えて、「令和と太宰府」のテーマで太宰府の魅力や将来像を話し合いました。



シンポジウムの様子

会場には多くの市民が集まり、歴史や文化をはじめとする太宰府の魅力を確認していました。また、太宰府茶道文化連盟によりお茶が振る舞われました。



令和文化会議の会場



太宰府茶道文化連盟によるお茶の振る舞い